

## 4. 家庭ごみの分別と減量に係るアンケート、並びに、ごみ減量施策に関する調査審議の実施について

### (1) 目的

市では、令和7年度までに1人1日あたりのごみ排出量を970グラム、1日あたり燃やせるごみ排出量を82.1トンまで削減するため、雑がみの分別徹底や古着の回収、職員によるごみステーション立会い・排出説明の実施など、ごみの分別と減量に取り組んでいますが、令和4年度のそれぞれの実績は、1,229グラムで259グラムの超過、104.2トンで22.1トンの超過となっています。

燃やせるごみ排出量が、令和8年3月に稼働予定の新ごみ焼却施設の処理能力を超える場合には、家庭や事業所から排出される燃やせるごみの収集やごみ処理施設への搬入に大幅な遅れや混乱が生じてしまうことが予想されます。

このため、今後のごみ減量施策の検討に向けて、家庭ごみの分別と減量に係るアンケート、並びに、ごみ減量施策に関する調査審議を実施してまいります。

### (2) アンケートの概要

#### ①件名

家庭ごみの分別と減量に係るアンケート 別紙1

#### ②対象者及び実施方法

- ・ 市政モニター（83名。郵送又はメール）
- ・ 町内会の代表者（507名。郵送）
- ・ 市民（市役所各窓口へ配置するアンケート用紙、又は、市ホームページからの電子申請。市政だより10月号に記事掲載。）

#### ③実施期間

令和5年9月中旬～10月31日まで

### (3) ごみ減量施策に関する調査審議

#### ①付属機関

会津若松市廃棄物処理運営審議会

会長 平澤 賢一 氏（公立大学法人 会津大学短期大学部 教授）

副会長 石田 忠司 氏（会津若松市区長会 副会長）

委員数 10名

構成 廃棄物行政に関心のある市民2名、各種団体の代表者5名、学識経験者2名、関係行政機関の職員1名

#### ②開催日程

令和5年10月頃から複数回開催予定